Encourage Course 2024

Hiroshima Institute of Technology
Senior High School CAMPUS GUIDE

学校法人 鶴学園
広島工業大学高等学校
［エンカレッジコース］

通信制課程（単位制）　普通科　男女共学

広島工業大学高等学校通信制課程（普通科・男女共学）。これまで修得した単位が加算できる単位制システムをとるこの新課程を、私たちは“Encourage Course・エンカレッジコース”と名づけました。Encourageとは「励（はげ）ます・勇気づける」という意の英語です。

学校法人 鶴学園
広島工業大学高等学校［通信制課程］
〒731-3163 広島市安佐南区伴北6丁目4104-2
TEL.082-849-6755 FAX.082-848-0167 https://www.kodaikoko.ed.jp

本校HP　Instagram

自分の“木”を育てよう。

自然の中で学ぶ「森の学校」

“新しいカタチの学びの場”を提供し、社会の中で自立して生きていくための人間力を育みたい。

このような「想い」を持ち、エンカレッジコースは教育を一から手づくりしています。

四季折々に変化する豊かな自然。ここには、「場の力」があります。だからこそ、本来人間に備わっている個性や感性を、充分に引き出してくれます。私たちは、この自然の持つ力を最大限利用しながら社会的な自立を目指すために、次の3つの力を育むことを大切にしています。

- 自分を表現する力
- 学びに向かう力
- 創り出す力

そして、すべての教育プログラムに息づいている「3つの学びの柱」が、生徒一人ひとりの“自立”を後押しします。

美術Ⅰ

3つの学びの柱

1 自分の心と向き合う学び

想いをカタチに

――私たちは自分の想いを生きることができる。しかし、他者の想い、溢れる情報、変化し続ける社会などによって、自分の想いに気づくことすら難しくなっています。日々の喧騒の中でどのようにすれば、自分の「想い」を生きていけるのでしょうか。

森で過ごす時、表現する時、人と触れ合う時。様々な「時」に、確かにある自分の想いに気づき、カタチにする。そんな学びを大切にしています。

プログラム1 表現する中で感じる、自分との出会い

自然や生き物、人とのふれあい。この体験から、自分だけの感じ方・考え方を発見することができます。自分なりの気づきを多様な方法で表現し、カタチにしていくことで見つかる、自分の新たな一面。表現するという取り組みを、自分についてのより深い理解へつなげていきます。

わたしの工芸

わたしの花

Setouchi-海Project

プログラム2 フィールドワーク ～STEP-OUT PROJECT～

「STEP-OUT PROJECT」は、学びの視野としての「今の自分」から一歩踏み出すことを目的としています。学校外で、これまで経験したことのない・学んだことのない活動や価値観に触れることで、これからを「より良く生きる」ための学びの視野を拡大していきます。

学校を飛び出して得た経験を「探究」へつなげています。生徒一人ひとりが、自分の興味関心からテーマを決め、探究としてまとめています。

<探究テーマ例>

- 自然の中での運動の効用とは
- なぜ瀬戸内海には波がないのか
- パドルだけでボードが前に進むのはなぜか

プログラム3 より良く生きる～生き方探究～

「キャリアデザイン」とは、自分の人生や就きたい職業についてその道のりを設計すること。つまり、自分を“つくる”ということです。長い人生をよりよく生きる（ウェルネス）という視点を持ちながら、自分についての学びを深め、ステップアップの道のりを探索していきます。

キャリアデザインⅠ
「人や社会のつながりを知り、これからの私とつなげる」

［想い］
まずは自分のこと、自分が学んでいる環境のこと、そしてそれらと自分のつながりについて目を向けていきます。つながりを理解したら、「これからの自分」とつなげていきます。

▼

キャリアデザインⅡ
「物事を多面的に捉える方法を知り、考察する力を身につける」

［想い］
物事を「多面的」に観る方法を学び、観えてきた事実を基に「考察する力」を身につけていきます。自分自身の「物事を観る力」を鍛え、興味関心を深めるための技術を身につけながら、キャリアデザインⅢの準備をしていきます。

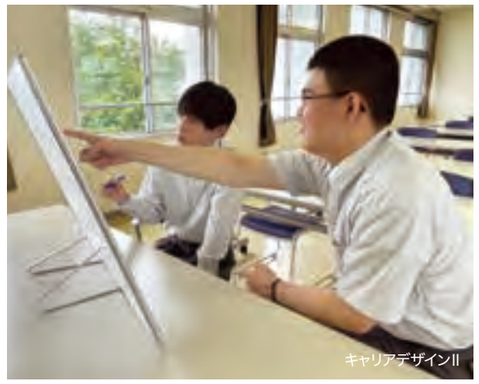
▼

キャリアデザインⅢ
「興味関心を探る～エンカレ課題探究～」

［想い］
キャリアデザインⅢは、「自分の“興味関心”を追求し、その面白さや素晴らしさを人に伝えることで、他者の新しい価値観の発見に貢献する」ことを目的としています。
自分の人生を「よりよく生きる」ために、この“興味関心”は自分のエネルギーの源になります。このキャリアデザインⅢで、自分の“興味関心”をとことん追求していきます。

▼

学習発表会にて口頭発表もしくはポスター発表


キャリアデザインⅡ

学習発表会（口頭発表）

<探究テーマ例>

- 自己肯定感の高め方～自己肯定感の低さのタイプから～
- 身近な花で花染めをした際、育った環境によって染まった模様に変化はあるのか
- なぜ日本の消費税は増え続けているのか

自分の心と向き合う学びの詳細はこちら

エンカレ祭

ヨガ

あおぞら
キャンプ

体育(乗馬)
～生き物に触れる～

コミュニティづくり

里山づくり～暮らしに触れる～

3つの学びの柱

2

社会的自立を確かにする交流学習

五感を研ぎ澄ませ、他を見つめる

――これからの自分を支えてくれる学びはどこにあるのだろう。その答えは、五感を通して見つかるのではないでしょうか。五感を研ぎ澄ませ、「他」の存在を肌で感じ、じっと静かに見つめる。その先に、私たちを支えてくれる学びが生まれてきます。

人、自然、生き物。様々な交流は、豊かな人間観をつくり、確かな自信を育みます。

プログラム1 交流学習で人間関係を豊かに

●あおぞらキャンプ/ほしぞらキャンプ

沢登りやテント泊など、自然の中で様々な非日常を体験します。みんなと一緒にやり遂げる体験は、自己肯定感の向上にもつながります。

●コミュニティづくり

身近な人間関係に目を向け、生徒同士で意見交換を行いながら、より良い関係づくりの方法を考えていきます。

●各期行事

各期には四季を感じる行事があります。生徒が企画段階から手作りする行事もあり、試行錯誤しながら作り上げた時には大きな達成感が得られます。

プログラム2 五感を刺激し、生き物感覚を育む

暮らしにふれる(里山づくり・園芸学と栽培技術)	【協同学習】
生き物にふれる(乗馬・飼育作業)	【体育】
土にふれる(陶芸)	【協同学習】
花にふれる(わたしの花)	【協同学習】
身体をみつめる(ヨガ)	【体育】
音にふれる(サウンドスケープ)	【音楽Ⅰ】
色にふれる	【美術Ⅰ】

社会的自立を確かにする
交流学習の詳細はこちら

3つの学びの柱

3 テーマ追求型ひとり学び

学び心を、紡ぐ

──遊び（楽しさ）は、豊かな人生をつくる。誰もが感覚的に理解していますが、学びも同じだと考えています。「遊び心」のような「学び心」を育んでいくこと。それが、学びの自立を確実にします。

遊びのように、求め、熱中しつなげていく。そんな学び心を育み、紡ぐことを大切にしています。

オリジナルレポートでの自学自習

生徒の学び心を刺激できるよう、レポートは一つひとつ手づくりしています。
教科書やeラーニング教材も活用しながら取り組んでいきます。教員と一緒に確認することで、「できた」という達成感を自信につなげ、学びを広げていきます。

テーマ追求型ひとり学びの詳細はこちら

プログラム1 学びをもっと面白く ～手づくり教材～

●レポートでの取り組み

学びを広げる

まずは学びの基礎づくり。
学びは1人で終わらせず、教員と一緒に「理解」を確認します。

▼

学びを深める

自信がついたら、さらに学びを深めていきます。テーマを決め、深めていくことで新しい学びをつくります。

▼

学びをつなげる

それぞれの科目や分野で生まれた学びを、点から線へ、線から面へとつなげます。学びをつなげていく楽しさを体感します。

レポート等での学習に、動画視聴を導入しています。学校でも取り組めますが、個人で使用できる端末があると便利です。

プログラム2 学びのステップアップ

英語・数学は「積み上げ」の教科です。英語検定・数学検定を取り入れ、日々のスクーリングの中で「どの分野ができているか」「どこが苦手なのか」を分析し、学びのステップアップが目指せるシステムを導入しています。一定の級に合格した場合、各級に応じた形での単位認定も行っています（所定のスクーリング数・レポート数を満たす必要があります）。

自分に合った学習方法の選択

学び方は人それぞれです。学びを進めていくと、自分の取り組みやすい学習方法が見つかるはずです。本校では、生徒と教員が相談し、取り組みやすい学習方法を選択できるようにしています。また、eラーニング教材を活用することで、学校でも自宅でも、学びを積み重ねていくことができます。

プログラム3 学びの分かち合い

エンカレッジコースでは、それぞれの学びの過程を大切にしています。スクーリングや学校行事での発表や展示、自主的な発表の機会を設け、それぞれの学びを分かち合っています。学びを共有することで、自分にはない考え方や表現方法について知ることができるため、視野が広がり、新たな学びへとつながっていきます。

学習発表会

学習発表会の個人発表では、それぞれの興味関心や探究の発表の場として、企画から当日の実施まで、生徒自ら主体的に取り組んでいます。楽曲制作ワークショップや画家についての発表など、多彩な内容で実施し、今後の自信につながっています。

フィールドワーク「Setouchi－海Project」では、SUP体験での気づきや疑問点などをもとに、各自でテーマを設定して取り組んだ探究成果を発表しています。

より良く生きるための進路

エンカレッジコースの進路学習では、人生を「より良く生きる」という視点を大切にしています。変化の激しい社会の中で、自分なりの視点と考え方のしなやかな“軸”を持って生きていくためには、様々な学びを含めた「経験」を積むことが必要です。

まずは自分を見つめ、視野を広げる機会を通して、自分の「生き方」について探っていきます。

1 自分を見つめる

日々のスクーリングや学校生活での多様な学びや経験の中で、自分の感じ方や視点に気づいていきます。また、体験的な学びを通し、表現をするための基礎をつくります。

自分を見つめるためのツールとして、本校独自のエンカレポートフォリオを活用しています。日々の振り返りを行うことで自己理解を促し、物事を多面的に見る力を身に付けていきます。

2 視野を広げる

自然や人、地域などとの新たな出会い、また、先輩や専門分野で働く方々の「生き方」に触れることで、自分の視野を広げていきます。

<例>

- 卒業生講演会
- 進路説明会
- 進路学習会
- 多文化共生講演会
- フィールドワーク
- キャリアデザインⅢ

「進路学習会」は、卒業年次生がアドバイザーとなり、在校生の様々な質問や悩みに答える“グループ相談会”の形式で開催しています。卒業年次生は自身の体験を踏まえて、様々な視点からアドバイスしてくれます。

「農と食について体験的に学びながらくらしを見つめる」というテーマで、フィールドワーク「くらしProject」を実施しています。安芸高田市のイニアビ農園を訪問し、土や作物に触れながら様々な体験を行います。農業を発端とし、世界の食糧問題についても目を向けることで、地域社会から世界の人々のくらしについて理解を深めています。

<探究テーマ例>

- 菌根菌とは何か
- 飢餓で苦しむ人がいるのは何が原因か
- 耕作放棄地が増加するとどのような問題が起こるのか

3 それぞれの進路へ

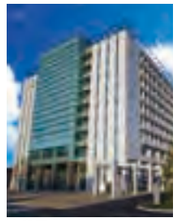
チューターや進路担当、教科担当など、各教員が窓口となって、それぞれの進路のあり方をサポートします。

安心の学校生活
詳細はこちら

卒業後の進路選択として

広島工業大学、広島工業大学専門学校への学園内推薦入学制度を設けています。

卒業生の今 詳細はこちら



広島工業大学

広島工業大学専門学校

自分を「表現」することが受験へつながる

エンカレッジコースでは、様々な学びの中で「表現」することを大切にしています。自然・生き物・人などと触れ合い培った感性が「自己表現力」となります。その自己表現力が評価され、過去3年間（2020年～2022年度卒業者）の進学者のうち約8割の生徒が総合型選抜（旧AO入試）、学校推薦型選抜（旧推薦入試）で合格しています。

また、学びを深めていくための時間がたくさんあるため、学びをとことん追求し、突き詰めていくこともできます。その「時間」を活用して一般選抜で受験し、国公立大学に合格した生徒もいます。

進路実績（2020年～2022年度卒業生）

■大学・短期大学

広島大学
広島市立大学
広島工業大学
広島経済大学
広島国際大学
広島修道大学
広島文教大学
広島文化学園大学
広島女学院大学
比治山大学
安田女子大学
帝京大学
奈良大学
大手前大学
京都美術工芸大学
甲南女子大学
岡山理科大学
広島県立農業技術大学校
豊岡短期大学
比治山大学短期大学部

■専門学校等

広島工業大学専門学校
穴吹デザイン専門学校
穴吹調理製菓専門学校
広島医療秘書こども専門学校
広島会計学院ビジネス専門学校
広島コンピューター専門学校
広島歯科技術専門学校
広島情報専門学校
広島酔心調理製菓専門学校
広島ビューティー&ブライダル専門学校
広島福祉専門学校
IGL医療福祉専門学校
大阪ECO動物海洋専門学校
岡山理科大学専門学校
福山市医師会看護専門学校
岩国YMCA国際医療福祉専門学校

エンカレッジコースは、
自ら学び、考え、
想いをカタチにしていく力を育みながら、
「学びの知恵」と
「つながり」を育む学校です。

様々な経験を積み重ねることで、
自信をつけ、
自分らしい人生を歩み出します。

豊かな自然の中で〝学び心〟を育み、自分に出会う。自分をひらく。

エンカレッジに入学する以前の私は、心身共にバランスを崩し、教室に入ることができなくなり、言わば暗いトンネルの中を一人で歩いているような、そんな感覚でいました。そんな私にとってエンカレッジは暗闇に差し込んだ一筋の光のようで「ここでなら自分らしく頑張れる」そう感じさせてくれる場所でした。

とはいえ、入学後は苦労することも多くありました。自由度が高い校風が故に、一人悩み込んでしまったり、周りに合わせようとするあまり自分の気持ちや意思を軽んじてしまうことも多々ありました。ただ、どんな時も親身になってくださった先生方やお互いを理解し合える友人と出会えたことで、少しずつ自分のペースで歩いて行けるようになりました。

そんな私はエンカレッジの総合的な学習科目であるキャリアデザインⅢで、自己肯定感についての探究を行いました。自己肯定感の本来の意味である「ありのままの自分を受け入れる感覚」を持つことは、自分にとってはとても難しいことでした。周りと見比べると常に劣等感、不安感に苛まれ、自信を失い、自分という存在をうまく理解できない状態でした。もちろんこの探究を経ただけで、自分自身を完全に理解できたわけではありません。ただ自分にとっては大きな気づきを得ることができた探究でした。

エンカレッジにはコミュニケーションを苦手とする生徒や、私と同じように過去に傷を抱えている生徒、登校することすら難しく、孤独を感じている生徒など、本当にさまざまな生徒が在籍しています。他校と比べると、違うことだらけで、まるで理解されない独特な部分もあるのかもしれません。ですがエンカレの生徒一人一人にはそれぞれ違った素晴らしい個性があり、お互いを受け入れ合う穏やかな雰囲気があります。

多様性が叫ばれる現代において、エンカレは重要な役割を担っているのではないかと私は感じます。一人一人が「自分」という存在を尊重し、「仲間」を尊重できる、そんな学校であり続けてほしいと思います。

～令和3年度卒業生代表　答辞より抜粋～

イラスト
卒業生：久保 佑紗

学び心をくすぐり、自分らしい生き方へと
学びを紡いでいく手づくりのプログラム

沼田の森にちりばめられた、たくさんの学びの種。
「もっと知りたい」。その知的好奇心から、学びの芽は拡がります。
感じて、思考し、カタチにする。その経験が、軸となる幹を支え、しなやかな枝葉を育みます。
一つひとつの学びがつながり、それぞれの生き方を拓いていきます。

※掲載科目については、2023年度実施のものです。

五感をひらく
体育（あおぞらキャンプ）
体育（沢登り）
体育（ほしぞらキャンプ）
わたしの工芸

時をみつめる
公共
歴史総合
地理総合

文化に触れる
異文化LABO
硬筆

ことばに出会う
現代の国語、言語文化
国語表現
英語コミュニケーションⅠ～Ⅱ
論理・表現Ⅰ

表現を育む
美術Ⅰ
音楽Ⅰ
ことばLABO
わたしの花

数の世界を深める
数学Ⅰ～Ⅱ
数学A
物理基礎

身体と向き合う
体育（MTB）
体育（NSP）
体育（からだづくり）
体育（ヨガ）
保健

ことばを深める
論理国語
文学国語
トライアル英語

情報と向き合う
情報Ⅰ
プログラミング基礎

暮らしを見つめる
科学と人間生活
家庭基礎
家庭総合
園芸学と栽培技術
里山づくり

伝える
体育（TAP）
コミュニティづくり
デザインLABO

学びを深める
工大英語
工大物理
工大数学
言語技術

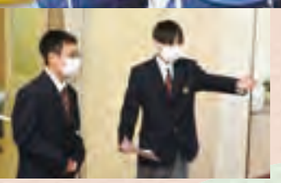
生き物を見つめる
生物基礎
体育（乗馬）

未来を拡げる
理数探究基礎
スポーツLABO
政治・経済

生き方をつくる
倫理
キャリアデザインⅠ～Ⅲ
フィールドワーク

カリキュラムの
詳細はこちら

森の1年



4月 入学式

在校生サポーターが新入生を温かく迎え、緊張を和らげてくれます。入学後は新入生オリエンテーションを行います。沼田の森を巡りながら、ゆるやかなつながりを作っていきます。

6月 夏至祭

春期の締めくくり行事として、毎年異なるイベントを企画します。竹など自然を活かした手作りイベントで盛り上がります。

10月 修学旅行

「ENたび」と称し、西九州を巡りながら様々な“縁”を探していきます。自然や人、モノ、コトに触れながら、自分自身の「これから」へとつなげていきます。

八千代校舎ピザづくり

12月 学習発表会

1年間の学びの集大成として、発表・展示などを行い、互いの学びを共有します。
「他者の学びを理解することで視野を広げる」「他者視点によって自分自身の学びを深化させる」ことを目的としています。

エンカレブログ
はこちらから

4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3

7月 あおぞらキャンプ

廿日市市・吉和にあるキャンプ場を出発し、沢登りに挑戦します。グループごとに、仲間と声を掛け合い、手を伸ばして助け合いながら登ります。ありのままの自然の厳しさを体感しながら、最後までやり切る達成感を味わうことができます。

9月 エンカレ祭

生徒主体で企画・運営を行う、エンカレを代表する行事の1つです。毎年、テーマを決め、それぞれのチームで内容を練り、計画的に準備に取り組んでいきます。当日は体験ブースやワークショップなど、多彩な内容で賑わい、生徒自ら接客やおもてなしを行います。

12月 ほしぞらキャンプ

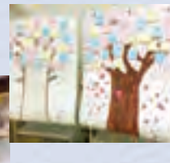
みんなでキャンプを「つくる」ことを大切にしています。登山やキャンプ飯づくり、焚き火などのプログラムを通して、道具を使い、火を囲み、仲間と冬を楽しみながら、沼田の森の新たな一面を見つけていきます。

むかし
あそび

3月 春分祭

生徒主体でレクリエーションに取り組みながら、1年間を振り返り、みんなで卒業をお祝いしています。卒業生と在校生が互いにメッセージを贈り合い、あたたかな雰囲気で1年を締めくくります。

お好み焼き
づくり



よくある質問

Q 卒業要件を知りたいです。

A 卒業のための要件は、以下の3つです。

1. 高等学校への在籍年数が3年以上（前籍校含む）であること
2. 必履修科目を含む74単位以上を修得すること
3. 特別活動に30単位時間以上出席すること

Q 単位修得はどのようになりますか？

A 以下のような流れで行っています。各期の最初に、チューターの先生と相談しながら、受講したいスクーリングを各自で選択します。

履修登録 ▶ スクーリング＆レポート（合格） ▶ 単位認定試験（合格） ▶ 単位認定

Q １年はどのような学期展開ですか？

A 学習のペースを整えるため、4学期制を採用しています。各期とも約5週間のスクーリング等と、約2週間の休み期間で構成されています。
いつでもリズムよく学習を始めることができ、自分のペースに合った学校生活を四季の中で過ごすことができます。

春 期 ▶ 夏 期 ▶ 秋 期 ▶ 冬 期

年間予定は
こちらから

Q １日はどのようなスケジュールですか？

A 日課表は右の通りです。スクーリングは、各期に月曜日から金曜日まで毎日組まれています。履修登録によって、自分のペースで受講できるオリジナルの時間割を決定します。

日課表

1時間目	10:30〜11:20
2時間目	11:30〜12:20
昼休憩	12:20〜12:50
3時間目	12:50〜13:40
4時間目	13:50〜14:40
5時間目	14:50〜15:40

カリキュラムは
こちらから

履修例は
こちらから

Q 制服はありますか？

A 春夏用、秋冬用の制服を用意していますが、購入・着用は自由です。
私服で通学している生徒もたくさんいます。

Q 入学までの流れが知りたいです。

A 入学までは、以下のような流れとなります。なお、入学試験を受けるためには、事前に保護者同伴で個別相談に参加していただく必要があります。4月入学生は、入学後、入学生同士の交流を深めたのち、学習がスタートします。

1. **学校に連絡**
   まずはご相談から。
   電話番号
   082-849-6755
   お気軽にお問い合わせください。
▶
2. **見学**（個別相談）
   スクーリングの様子や教室等をご覧いただきます。
▶
3. **入学試験**（小論文・面接）
   入試として、小論文および面接試験を行います。
▶
4. **合否通知**
   郵送にて合否を通知します。
▶
5. **オリエンテーション**
   学校生活の準備をします。履修の仕組みや学校生活について説明し、入学の準備を進めます。
▶
6. **入学**
   新しい学校生活の始まりです。

Q 通学方法はどのようなものがありますか？

A スクールバスを運行しています。多くの生徒はスクールバスを利用して通学しています。スクールバスは、午前便・午後便があります。
その他にも公共交通機関を利用している生徒もおり、通学方法は様々です。

スクールバス経路

商工センター入口
↑↓
JR五日市駅
↑↓
アストラムライン 広域公園前駅
↑↓
アストラムライン 大塚駅
↓
アストラムライン 大原駅
↓
沼田校舎

※大塚駅は乗車のみです。
（降車は伴中央駅となります）

＜公共交通機関＞
アストラムライン
大原駅下車
▼
戸山方面行バス
下大下にて下車
▼
徒歩15分で正門へ

所要時間　※乗り換えにかかる時間は含みません。

アストラムライン＋スクールバス利用の場合

伴駅	15分
安東駅	20分
大町駅	25分
本通駅	40分

JR＋スクールバス利用の場合

＜JR山陽本線＞

岩国駅	80分
廿日市駅	50分
西広島駅	52分
横川駅	55分
広島駅	60分
海田市駅	75分
西条駅	1時間45分

JR＋アストラムライン＋スクールバス利用の場合

＜JR可部線＞

緑井駅	25分
可部駅	40分
あき亀山駅	45分

高速バス利用の場合

広島北 IC	25分
千代田 IC	40分
三次駅	75分

本校が中国道久地バス停近くにあることから、高速バスを利用して通学することも可能です。

建学の精神

教育は愛なり

鶴学園の教師は、一枚の大事な写真を共有しています。病の床から数学を講義する校祖鶴虎太郎「病臥中の授業」の写真です。

明治39年脊髄カリエスが悪化、下半身不随となり、校祖は医師から死の宣告を受けました。しかし、校祖は、入学を許可した生徒の教育を放り出すことはできない、と病床から授業を続けました。

この一枚を見ることで、私たちは「教育は愛なり」という建学の精神・キリスト者としての校祖の魂を感じるのです。

今日、私たちは、この「愛」とは、「想いを持って教育にあたること」つまり、「児童・生徒・学生の現実にきちんと向き合い、どういう教育をどのようなプログラムで展開すべきか」、「それが児童・生徒・学生の何を養うことになるのか」そして「それがどのような人材育成につながるのか」という「想い」を常に持って教育にあたるよう促すことばである、と受けとめています。

教育方針

常に神と共に歩み
社会に奉仕する

この校祖の精神を継承し、鶴学園を創立した鶴 襄は教育方針を「常に神と共に歩み社会に奉仕する」と定めました。

このことばからは、たとえ「想い」を込めた教育活動であっても、それを絶えず「これでいいのか」、「さらに工夫できることはないのか」と、“自己を厳しく戒め、律する精神”の大切さを説く創立者の心が伝わってきます。

「常に神と共に歩む」とは、そういう姿勢を求めることばだと私たちは思っています。

学び直しを鶴学園で！

今日の日本の学校教育は、様々な問題を抱えております。

そのため、心ならずも中途で挫折してしまった人たちや教室に身を置いても積極的に学びに参加できずにいる人たちを生み出しています。

この“エンカレッジコース”は、そういった人たちを励まし・勇気づける教育を展開したいという想いからつくりました。通信制に許された（全日制ではできない）大胆な教育展開で、困難を克服しうる人間力を鍛え、そのことで社会的な自立を可能にしてもらいたいと考えています。

こうした想いは鶴学園の２つの教育理念＝校祖鶴虎太郎の建学の精神「教育は愛なり」と創立者鶴 襄の教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」にもとづくものです。

理事長　鶴　衛

森の中の手づくりの学校

広島工業大学高等学校エンカレッジコースは、建学の精神「教育は愛なり」、教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」を具現化する教育プログラムを実践し、「日本一」の通信制課程を目指しています。

通信制課程の多くの学校は、便利な街中にありますが、私たちは敢えて不便な場所、沼田の森に学校を創りました。ここ沼田の森は、人の心を耕し育む「場の力」を持っています。

昨年度の卒業式前、本校を巣立つ生徒たちに次の問いかけをしてみました。「“エンカレ入学前の自分”へ、どんなメッセージを伝えたい？」

その回答が以下のものです。

- 心配や不安なこともあるけれど、そんなことを忘れちゃうくらい楽しくて素敵な3年間になるよ！
- 楽しいことばかりだから心配いらない！
- 英語と数学は難しいけど、学校生活は楽しいから頑張れ！
- 悩みの種こそ　自分らしさ
- すぐ友だちができると思うよ！
- 休憩をしっかりとりましょう
- 優しい人に囲まれてるよ！！
- 人と話すことが大好きになるよ～！
- 笑ってるんで安心しなさい
- 気楽にいけ

入学した時の不安や悩みを乗り越え、自信溢れる卒業生たちの言葉です。まさに「沼田の森の人生訓」と言えます。

沼田の森ではゆっくりと時間が流れます。

変化する四季を五感で感じながら森に心身を委ね、大地のパワーを感じてください。少しずつ、エネルギーが湧いてくることでしょう。

まずは一歩、足を踏み入れてください。

校長　山口　健治